

2019 年第 3 回日本地球化学会理事会議事録

日時：2019 年 9 月 19 日（木）12:15-14:10

場所：東京大学本郷地区キャンパス 理 1 号館 336 号室

出席者：鍵 裕之，益田 晴恵，南 雅代，板井 啓明，川口 慎介，角皆 潤，服

部 祥平，福士 圭介，鈴木 勝彦，大野 剛，藪田 ひかる，奈良岡

浩，高野 淑識，日高 洋，浅原 良浩，土岐 知弘，太田 充恒，寺田

健太郎，飯塚 毅，蒲生 俊敬（監事），山本 鋼志（監事）

欠席者：原田 尚美，横山 哲也，角野 浩史，張 勁

オブザーバ：伊藤 正一，小木曾 哲，丸岡 照幸，中川 書子，小畑 元，下田

玄，高橋 嘉夫，橘 省吾，三村 耕一，折橋 裕二，野尻 幸宏

定足数 12 名を超える 19 名の理事および 2 名の監事の出席を得て理事会が成

立したことを確認した。

1. 審議事項

1.1. 代表理事の選任

以下の代表理事候補が承認された：

会長—鍵 裕之；副会長—益田 晴恵，南 雅代

1.2. 幹事の選任

以下の幹事が提案され承認された：

GJ—鍵 裕之（2019 年 12 月まで），鈴木 勝彦（2020 年 1 月から）；庶

務—飯塚 毅；会員—大野 剛；総務—板井 啓明；広報—角野 浩史，国際

—横山 哲也，企画—服部 祥平；会計—浅原 良浩；地球化学—小畑 元；

年会—折橋 裕二

1.3. 前理事からの引き継ぎ事項

- ・ 会員数を増やす対策，特に若手会員数を増やす対策を練る必要がある。
- ・ Geochemical Journal の将来について議論をすすめ，今後二年間程度で方向性を定める。
- ・ 倫理綱領・ガイドラインを作成する。
- ・ 委員会メンバーの公開＋委員選出ルールの方策：任期が終わった委員を公開することを検討する。委員会メンバーのジェンダーバランスや年齢のバランスを保つための委員選出法を検討する。
- ・ 年会 LOC において，理事のより積極的な関与を促す。

- ・庶務, 企画, 国際幹事などの仕事を軽減するため, 委員会組織で仕事を分担することを検討する.
- ・国際交流のあり方: 中国・韓国・台湾と MOU を締結しているが, 今後さらに東アジアの学会との協力体制を築いていく方法を検討する.
- ・Goldschmidt での広報の負担を軽減する方法を検討する.
- ・JpGU・化学連合との協力関係のあり方を議論していく.
- ・日本学術会議・大型研究への学会としての関わり方を議論していく.

1.4. 前会長からの挨拶

前会長の益田会員から挨拶があった.

1.5. 各委員会委員長および委員の選任 (*は委員長)

学会賞受賞選考委員と鳥居・井上基金選考委員の選挙が実施された.

学会賞受賞選考委員会: 日高 洋*,

鳥居・井上基金選考委員会：下田 玄*

広報委員会：角野 浩史*，原田 尚美，高野 淑識，藪田 ひかる，川口 慎
介，日高 洋，土岐 知弘，太田 充恒，寺田 健太郎

名誉会員選考委員会：益田 晴恵*（委員は今後選出）

国際対応委員会：横山 哲也*，益田 晴恵，飯塚 毅，鈴木 勝彦，張 勁，

上野 雄一郎，大野 剛，高橋 嘉夫，平田 岳史（アドバイザー），吉田 尚
弘（アドバイザー）

将来計画委員会：南 雅代*，鈴木 勝彦，谷水 雅治，服部 祥平，原田 尚
美，堀 真子，川口 慎介

企画委員会：服部 祥平*，角皆 潤，鈴木 勝彦，藪田 ひかる，奈良岡 浩，
川口 慎介，福士 圭介

1.6. 委員会設立および規程の承認

- ・国際対応委員会を新設することが承認された。
- ・国際対応委員会に関する規程が提案され，承認された（添付資料1）。
- ・将来計画委員会に関する規程が提案され，承認された（添付資料2）。

1.7. その他

- ・前理事の橘会員から、理事会運営に関する定款、規程、および注意事項について説明があった。
- ・年会のセッション区分の立て方について、今後検討することが提案された。
- ・将来計画委員会で、今後の学会員減少に伴う会費収入の減少を補う方策（年会参加費の値上げや寄付金など）を考えていくべきとの意見が出された。
- ・国際対応：次回年会では中国の研究者を招待する。海外招待者がより参画しやすいように工夫した方が良いとの意見があった。具体的な策として、海外招待者の研究分野を絞って当該セッションは全て英語にする、受賞記念講演を通常セッションに組み込む代わりに海外からの招待講演を総会後に入れるなどの案が提案され、引き続き検討していくこととなった。

以上の議事を終え、14時10分に閉会した。